

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 15 日

事務事業名		原方集会所運営事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	020203000606
					単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け					生涯学習課	
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進					生涯学習課	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり					課長名	
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進					グループ	
手段名		O3 ③生涯学習・文化施設の活用					担当者名	
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	01	03	00	地域改善対策事業	
法令根拠		桜川市原方集会所設置及び管理に関する条例			単年度繰返し (年度~)		期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<ul style="list-style-type: none"> 原方集会所設置及び管理に関する条例 (条例第83号) に基づき、運営委員会を設置。運営委員の定数は10名以内とし、原方区長、亀熊区長、市議会文教厚生常任委員長、有識者、榊穂小学校長、榊穂小PTA会長、桜川中学校長、桜川中PTA会長、で構成している。(年1回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 原方集会所運営委員会開催・委嘱書交付 6月頃 (教育長、課長、担当) ※令和3年度は書面表決 開放事業の周知 6~7月 (該当区、桜川中、榊穂小) ※令和3年度は未実施 施設の維持管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 運営委員会前に管内清掃業務 奇数月に浄化槽維持管理業務 浄化槽法定点検 光熱費等の支払い事務 消防点検結果受理業務 管理人への報償費支払い事務 3月

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・集会所の一般開放 (地域住民への一般開放)、夏期休業中の児童生徒対象の開放などの利用促進、及び施設の管理、安全点検など施設管理全般を行う。	会議回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	利用日数	日	1.00	0.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市民	人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
施設の利用を広く周知し、利用しやすくする。	利用者数	人	5.00	0.00	25.00	25.00	25.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	348	257	341			
	事業費計 (A)	千円	348	257	341			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	03年度	04年度
07 報償費	84	102
10 需用費	91	137
11 役務費	5	5
12 委託料	77	97
合計	257	341

事務事業名	原方集会所運営事業	事務事業No.	20203000606	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> 同和対策事業の一環として、人権教育の啓蒙・啓発事業を円滑に推進するため、旧真壁町で集会所を設置した。 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> 同和問題に関する知識をより深めていくよう要望がある。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> 差別や偏見のない明るい社会を築いていこうとする意識を醸成することは、人権という文化が根付き、人権教育の推進に資する。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> 国連において「世界人権宣言」が採択され、国の法令、県の人権施策推進基本計画により地方公共団体の責務が明確になっており、行政として施策を行う必要がある。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> 集会所がある原方地区には地区会館もあり、地域住民は主に会館の方を利用している状況から、現在以上の利用増加は難しい。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> 法令などによって、地方公共団体の責務が明確になっていることから、廃止・休止はできない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> 類似事業や統廃合の可能性はない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> 現在限られた予算で施設を管理している。施設も老朽化しており、近年修繕箇所が増えてきているため、事業費の削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> 市民を対象としており、立地的に地域住民及び近隣小中学校での利用が妥当であるため、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> 原方集会所運営委員より利用増加を図るには駐車場の整備が必要との意見があったが、近隣の土地空き地状況を踏まえると、駐車場の整備は難しい。 現在の利用状況については、近隣の小中学校の学校行事やPTA活動、及び地域のスポーツ少年団の利用はないが、地域に即した利用がされている。 																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認